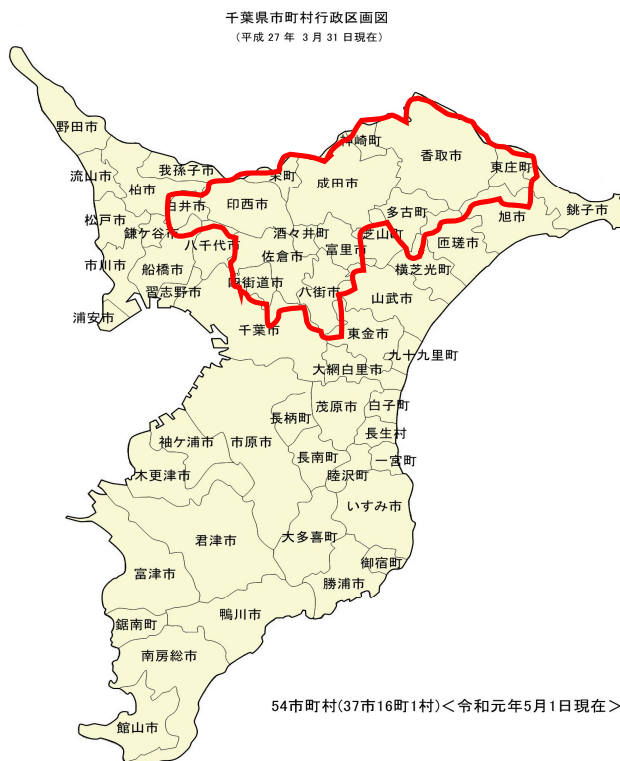


令和7年10月29日(水)
印旛健康福祉センター運営協議会

印旛・香取保健所合同災害時保健活動訓練 (避難所のアセスメント) の報告



千葉県ホームページから



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

災害時保健活動の目的【千葉県災害時保健活動ガイドライン（改訂版）】

- 災害発生時に、住民の生命・安全な暮らしの確保を図り、避難生活に伴う二次的健康被害（※）を予防しながら、被災地域全体の早期復興へ向けた支援を行うこと

※深部静脈血栓症／肺塞栓症（エコノミークラス症候群）、感染症や食中毒及び慢性疾患の悪化等



災害時の医療救護と保健活動の関係

参考：千葉県災害時保健活動ガイドライン（改訂版）平成30年9月

医療救護 フェーズ	フェーズ0 発災から6時間 発災直後	フェーズ1 6～72時間 超急性期	フェーズ2 72時間～1週間 急性期	フェーズ3 1週間～1か月 亜急性期	フェーズ4 1か月～3か月 慢性期
医療救護の主な活動	・DMATの活動 ・災害医療コーディネーター参集 ・医療対策拠点の設置	・主に近隣、全国DMATによる支援活動 ・DPAT、JMAT、JRAT、災害支援ナース、歯科医師会、薬剤師会等 ・救護所の設置・運営 ・医療救護傷病者・避難行動要支援者・要配慮者（特に医療ニーズの高い患者）			
医療救護と保健活動	医療救護	通常の診療体制へ 保健活動			
保健活動 フェーズ	フェーズ0 発災後24時間以内	フェーズ1 72時間以内	フェーズ2⇒フェーズ3⇒フェーズ4 （フェーズの変化は状況に応じて判断する）		
保健活動	初動体制の確立 住民の生命・安全の確保を行う	緊急対策期	応急対策期～生活の安定～ 復旧・復興対策期 避難所対策が中心の時期 避難所から仮設住宅等次の住まい入居まで		
保健活動の対象	傷病者・避難行動要支援者・要配慮者（特に医療ニーズの高い患者） ⇒要配慮者（時間とともに健康課題が生じる方：慢性疾患等、妊産婦等）				
保健活動の場 被災者の居場所	救護所等 -----> 避難所／テント／車中 -----（必要時） 二次（福祉）避難所 -----> 借り上げ住宅・仮設住宅 自宅／親戚知人宅 ----->				

資料：災害時医療救護活動ガイドライン（東京都福祉保健局、平成28年2月）、大規模災害における保健師の活動マニュアル（全国保健師長会、平成25年7月）

令和7年度印旛・香取保健所合同災害時保健活動訓練

- 目的：保健所・管内市町間相互の連携強化及び職員の災害対応能力向上
- 日時：令和7年10月2日（木）13時30分～16時
- 場所：印旛合同庁舎 2階大会議室
- 対象者：印旛・香取保健所及び管内市町（印旛保健所管内9市町、香取保健所管内3市町）の保健師（51名）、栄養士（9名）、精神保健福祉士（1名）、歯科衛生士（1名）、事務（3名）

合計：65名

- 内容：演習・講義「災害時保健活動～避難所運営ゲーム（HUG）を活用した避難所の健康管理について～」
- 講師：日本医科大学千葉北総病院

DMAT／千葉県・印旛地域災害医療コーディネーター

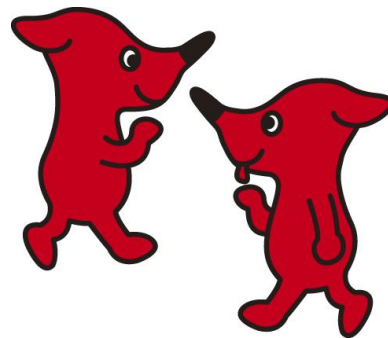
令和7年度印旛・香取保健所合同災害時保健活動訓練 評価

○ 評価

- ・参加者：保健師51名、栄養士9名、精神保健福祉士1名、
歯科衛生士1名、事務3名 合計65名
(印旛保健所管内9市町、香取保健所管内3市町参加)
- ・アンケート結果から
 - ☆これまでイメージがあまりついていなかった活動について、
イメージすることができた。
 - ☆避難所のアセスメントを学ぶよい機会となった。
 - ☆定期的にこのような機会をもうけてくれるとよい。
 - ☆役割分担、コミュニケーションが大事。

今後に向けて

- 訓練の継続
- 平時から、日頃の保健所業務をとおして、市町、関係機関との連携、顔の見える関係づくり



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん